

～保護者の皆様へ～

スクールカウンセラーだより

平成27年度 No.4

尾張旭市立本地原小学校

スクールカウンセラー

勝部 達也

こんにちは。スクールカウンセラーの勝部達也(かつべたつや)です。6月も終盤にさしかかりました。1学期も残すところあと1ヶ月余りですね。梅雨のジメジメに負けず、1学期を乗り切りたいところです。

さて、最近になって知ったことですが、「You Tuber(ユーチューバー)」と呼ばれる仕事があるようです。小学生の中には、将来のなりたい職業として、これを挙げている子も少なくはないようです。この仕事を大まかに説明すると、インターネット上のある動画サイトに、自分で撮影した動画に広告バナーをつけて投稿し、動画が再生される度に、広告収入を得ることができ、その収入を頼りに生活してゆくといったものようです。

こうした職業があるということと、それを将来の夢としている子が少なからずいるということの二つに、驚きを覚えました。近年、子どものインターネットへの依存が問題となっており、パソコンやスマートフォンなどに利用制限が設けられたいしていますが、どのような事態が起こっているのでしょうか。今回は、インターネットの流行とその意味について考えてみたいと思います。

まず、ネットといっても様々な形態(SNS、オンラインゲーム・チャット、動画投稿など)がありますが、共通して言えることは、一方的であるということです。様々な形で、ネット上で人と関係することはできますが、現実場面の関係とは違って、都合が悪くなれば拒否してシャットアウトできてしまうところが、ネットの特徴かなと思います。

この一方的関係ということをもう少し深めて考えると、人との関係の中で生じる傷つきから身を守ることができるという利点があるように思います。もし何らかの形でヒドイことを言われれば、ボタン1つで相手を拒否すればよいわけですから、傷つきやすい人にとっては、大変都合が良いのだらうと思います。You Tuber という仕事をみても、わずらわしい人間関係はなく、自分の思うように動画を投稿し、批判的なコメントがあれば、それを削除してしまえばいいわけで、傷つきから身を守ることが比較的容易にできるのでしょう。

ただ、このことについて見方を変えると、少しのことでも傷つきやすい子、繊細なところを抱えている子が増えているのだらうということです。現実世界で、人とかかわる刺激に傷つき耐えきれなくなり、ネットの世界に逃げ場を作っている子は少なくはないのかもしれないなと感じています。

もちろん、もっとポジティブな意味合いでインターネットを利用している子も、たくさんいるとは思いますが、傷つきやすい心を抱えた子にとっては、ネットという一方的な世界が唯一、安心して人と関係を持つことのできる場なのかもしれません。

※どんなことでも構いません。お困りの事がありましたら、お気軽にご相談ください。

<今後の勤務日程>

9/24 10/15 11/5 12/10 1/14 2/4 3/10

時間帯は 10:30～16:30 の間となります。

-----きりとり-----

相談予約用紙

年 組 名前

ご相談内容(未記入でも可):

相談希望日時: 月 日 時間帯(: ~ :)